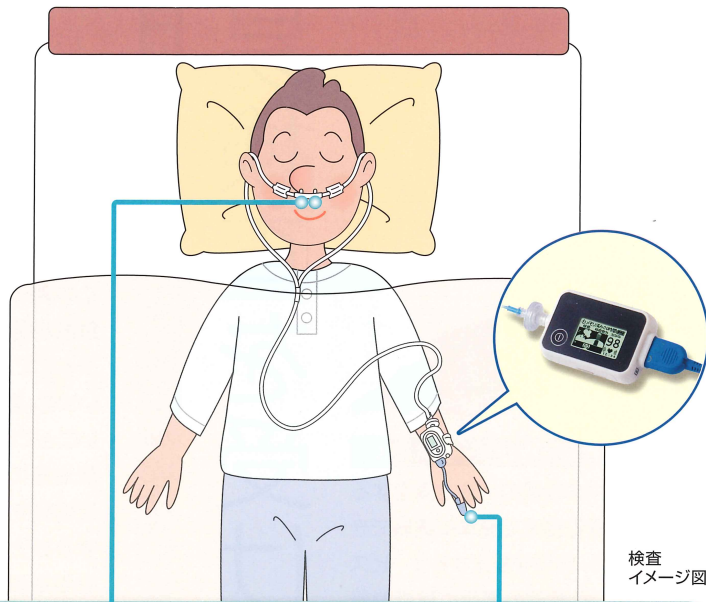


# どのような検査ですか？

この検査は、主に睡眠時無呼吸症候群(SAS)を簡易的に判断するための検査です。

手と顔にセンサーをつけて、眠っている間の呼吸と血液中の酸素(濃度)の状況を調べます。  
 少しわずらわしいと感じるかもしれませんが、痛みを伴う検査ではありません。  
 安心して検査をしてください。



検査イメージ図

## 気流センサー

口鼻からの気流を測定し、無呼吸や呼吸が弱くなった状態(低呼吸)が無いかを調べます。1時間あたりの無呼吸や低呼吸の数(無呼吸低呼吸指数: AHI)を算出します。SASの重症度を診断する上で重要な指標です。

## 動脈血酸素飽和度 (SpO<sub>2</sub>)

血液中の酸素濃度の目安をパーセントで表示します。呼吸換気が悪くなると、酸素濃度が下がり、体に悪影響を与えます。換気の指標となる重要な測定項目です。

## 診断

医師が呼吸状態と血液中の酸素飽和度 (SpO<sub>2</sub>) の変化を総合的に評価し、SASの疑いがあるかどうかの判断を行います。SASの疑いがある場合、PSG検査(\*)を行うことがあります。

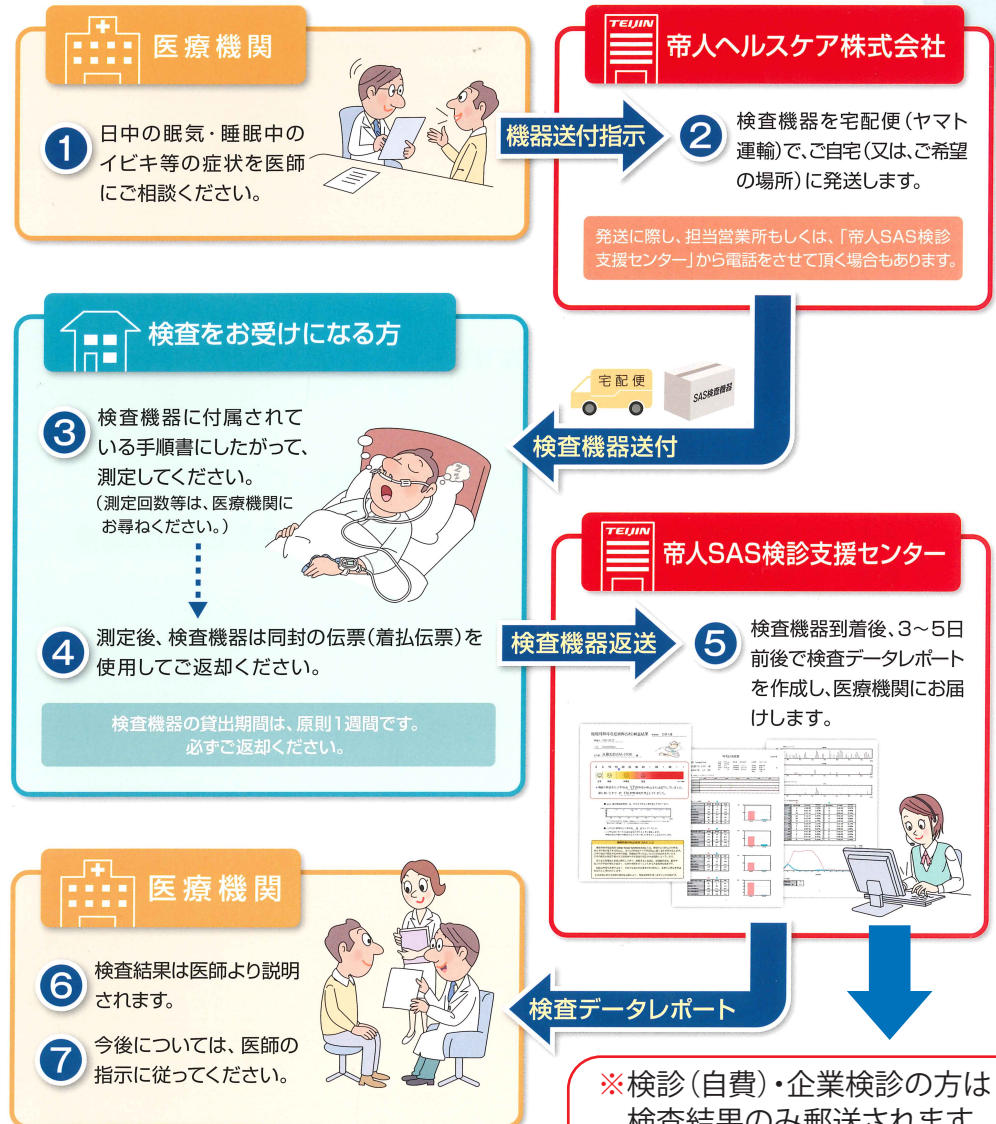


\*PSG検査

PSG検査とは、眠っている間の睡眠と呼吸状態を調べる検査です。睡眠中の検査の為、入院の必要がありますが、睡眠時無呼吸症候群(SAS)の診断をする上でとても大切な検査です。

# 睡眠時無呼吸症候群(SAS) 簡易検査機器自宅配送サービスの流れ

帝人ヘルスケア株式会社が、医療機関から委託された検査支援サービスです。



※ 検診(自費)・企業検診の方は検査結果のみ郵送されます。(医師からの説明はありません。)

※ 料金については当該医療機関にお問い合わせください。